

平成28年度
十勝ブランド強化支援事業
需要調査レポート

需要調査実施概要

今回「十勝ブランド強化支援事業」の一環で、北海道外のバイヤー等を対象に、十勝の食産品及び関連する認証制度に対する需要調査を実施しました。

調査にあたっては、本事業で制作した十勝ブランドPR用カタログ「十勝の人財・食材ベストセレクション」をバイヤー（100社）に送付し、同時に需要調査用のアンケート用紙を送付して、FAXによる回答方法のほか、電話聞き取りやWEBアンケート形式も採用した。



- 食カタログ「十勝の人財・食材ベストセレクション」
- アンケート

DMで送付

道外バイヤーをメインに配布

- アンケートの回収
WEBアンケート又は
FAXバック
- 電話聞き取り

DM発送後、アンケート内容に基づいた聞き取り調査を実施

食事業者へ
フィードバック

バイヤーから得た需要調査の結果や十勝の事業者に対する要望などを十勝の事業者へ伝え更に品質向上を目指す。

対象バイヤーの需要情報を得ることで今後、販路拡大をスムーズに進められるよう対策を講じる。

需要調査実施概要

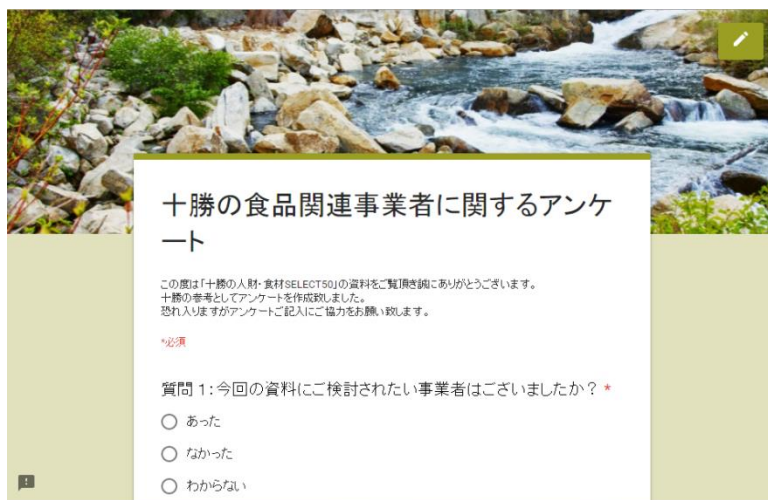
対象バイヤーへのアンケートについては回収効率と正確なアンケート結果のデータ集計が必要な為WEBアンケート方式を採用予定。

□WEBアンケートのイメージ

・短時間での回答を目標にする為、ラジオボタン方式をメインに質問を設定

・WEBアンケートは「Googleフォーム」にて実施予定

・アンケートのご案内資料にWEBアンケートへのURLを記載し送付する



アンケートの内容趣旨

主に4種類に分けそれぞれの方向性からマーケティングを実施。

□アンケート・聞き取り項目

- 質問 1: 本カタログに掲載されている生産者・食品関連事業者で取引をされている企業はありますか。
- 質問2: 本カタログに掲載されている生産者・食品関連事業者で取引をしてみたい企業はありますか。
- 質問3: 本カタログで取り上げている制度や、その他の制度で取引の際に気にされている制度があれば教えて下さい。
- 質問4: 質問3でチェックをした制度を気にされている理由を教えてください。
- 質問5: FOOD TABLE in JAPAN2017(もしくはスーパー・マーケット・トレードショー2017)へは来場されますか。

現状の課題を抽出、今後の販路拡大のベースを確立させる

集計数

46 / 100社

質問1(取引実績)

実績なし29 実績1社8 実績複数社9

質問2(取引希望)

なし27 1社あり3 複数社あり16

質問3(制度への関心)

なし35 1制度11 複数社あり0

質問4(3の理由)

理由あり16
(質問3「なし」の理由も含む)

質問5(2月大型商談会への参加予定)

はい25 いいえ21

需要調査実施報告②

需要調査結果概要

需要調査実施にあたり

まず需要調査実施にあたり、カタログ資料及びアンケート協力を送付した段階でアンケート回収率が良く、電話による聞き取り回答に対してもスムーズにご回答を頂けた。ただし、個人で経営している飲食店などは回答をする時間が限られているため、比較的規模が大きい百貨店や商店など、仕入れや物産展担当者などが明確に分業されている業態からの回答が多かった。

取引実績・取引の期待について

質問1(現在取引中の案件も含む取引実績)については、17/46という回答に対し、質問2(取引したい企業、製品への関心)については、19/46という回答(内、複数回答が16)であった。

また、回答の特徴としては、質問2において「今後の取引に関心がある」と答えたバイヤーのほとんどが複数の企業や製品への関心を示しており(複数回答は16)、更に食肉や乳製品、加工品等、複数のカテゴリで食材を探しているのが特徴として挙げられる。

なお、質問2で「今後の取引に関心がある」と答えた19社のうち、「(現在)実績なし」と回答したのが10/19のため、新規開拓の可能性への期待が大きいと言える。

認証制度について

質問3(認証制度への関心)については、「関心なし(特に気にしていない)」に2/3以上の回答があったが、その主な理由としては、地方行政機関や支援機関が確立している認証制度について、業界や消費者における認知度が低いため、製品そのもの(品質等)を重視しているということが挙げられた。

しかし、一部「北のハイグレード食品」等知名度が高くなってきている認証制度については、注目しているバイヤー一定数おり、特に衛生管理面の担保・保障として「北海道HACCP」について重要視しているバイヤーも見られた。(別紙参照)。

こうしたことから、認証制度の取得を販路拡大につなげるためには、バイヤーや一般消費者に対する認知度向上のためのPR活動が今後の課題となっている。

需要調査実施報告③

認証制度についての 意見・感想抜粋 (気にしている認証制度及びその背景)

- (北のハイグレード食品)認知度も上がってきている為。(札幌／商店)
- (北のハイグレード食品で選定された商品について)厳選された商品であり、ブランド化されれば認知度が高まり販売増につながることを期待。(大阪／スーパー)
- (北のハイグレード食品)知名度が高くなってきており、物産展示した際にお客さんの評価も高い。(東京／百貨店)
- (北のハイグレード食品)知名度が上がってきているので(東京／百貨店)
- (北海道HACCP)近年、世間・お客様も品質に対して厳しい目を向けられるようになってきている。HACCP準拠で衛生管理をしっかりして頂いているメーカー様に任せたいと思います。(静岡／食材宅配サービス)
- (北海道HACCP)品質が担保されている保障の為(東京／介護施設)
- (北海道HACCP)食の安全に対する認識を改めて確認できるため。(東京／商店)
- (有機JAS)オーガニック及び不必要な添加物を使わないナチュラルな国中外の食材を扱う小売業ですので、(有機JASなど)認証マークの有無及びその商品の背景は常に気にしている。(東京／グロースリーストア)